

科目	看護過程				
時間数	1単位 15時間	授業方法	講義	授業時期	1年
講師名	③伊藤純子				
実務経験	③看護師(医療機関)				
ねらい	根拠に基づき看護を計画的に実践するために、問題解決過程(アセスメント・計画・実施・評価)を習得する。この学びを、次の生活行動援助技術演習時に活用し、看護過程展開の実際を学ぶ。				
目標	1. ヘンダーソンの枠組みを用いて、看護介入の基本となる思考過程を理解する 2. 看護過程の展開に応じた記録方法が理解できる				
授業計画					
回	内容				
1	1. 看護過程とは ① 5つの構成要素 ② 問題解決過程 ③ ヘンダーソンの看護理論				
2	アセスメント				
3	看護問題の明確化(看護診断)				
4	看護計画				
5	実施、評価 看護記録				
6、7	2. 事例を用いて、看護過程の実際を学ぶ 問題リスト、看護計画、実施、評価				
8	まとめ				
評価方法	その時間数の3分の2以上の出席者に限り受験資格を与える。 学科終講時に行う筆記試験 70%、レポート・課題提出状況 30%を総合して評価する 60点以上を及第点とする。				
教科書	基礎看護学②基礎看護技術 I : 医学書院 看護の基本となるもの : 日本看護協会出版会				